

# 科学技術施策の成果の社会還元の加速に向けて

日本経済団体連合会  
産業技術委員会 産学官連携推進部会長  
味の素株式会社 技術特別顧問

西山 徹

産業界がより積極的な役割を果たし、  
課題解決型のオープン・イノベーションに向けた  
改革を進め、国際競争力を強化すべき



## 現状認識

- ・産学官での意識の共有が不十分であり、オープン・イノベーションを通じて国際競争力強化、持続可能な成長等の課題を克服する仕組みが弱い。
- ・政府の研究開発費、研究人材等のインプットが、国際競争力強化等のアウトカムに繋がっていない。
- ・欧米主要国は国を挙げて成長力強化等に向けた科学技術・イノベーション政策を推進中。このままではわが国の国際競争力はさらに低下する恐れが大きい。

## 詳細

<http://www.keidanren.or.jp/japanese/policy/2008/027.pdf> 2

---

# 政府主導の社会還元加速6プロジェクト

- ・生涯健康な社会
  1. 人体機能を再生する医療
- ・安全・安心な社会
  2. 災害情報通信システム
  3. 安全で効率的な道路交通システム
- ・多様な人生を送れる社会
  4. 先進的な在宅医療・介護
- ・世界的課題解決に貢献する社会
  5. バイオマス資源の総合利活用
- ・世界に開かれた社会
  6. 音声翻訳コミュニケーション技術

## 実現への課題

イノベーションの実現には

- ・技術革新
- ・規制緩和、制度開発
- ・国民的合意
- ・海外展開、海外協調
- ・事業化

それぞれにブレークスルーが必要

オールジャパンの総力を結集した「ブレークスルーの連鎖」を！

# 社会還元加速プロジェクトへの提言

ステージ： 大学・研究独法・産業界における基礎研究、事業化に向けた実証研究

産学官(オールジャパン)が  
それぞれの精鋭を選定し、  
**under one roof** に**100%**専任要員として集結し、  
目的・目標実現の運命共同体を成す。

立体的統合体制

常時mutual understanding

synergic breakthroughの連鎖

- ・技術革新
- ・規制緩和、制度開発
- ・国民的合意
- ・海外展開、海外協調
- ・事業化

# バイオマス資源の総合利活用プロジェクトへの提言

ステージ： 大学・研究独法・産業界における基礎研究、産業界における事業化・定着化

1. 産学官から100%プロジェクト専任の要員の選定と立体的統合体制の構築  
**under one roof**

2. 技術的課題に対するフレックスルーの達成

- 1) グローバル(東南アジア、南米、アフリカ)に最適なバイオマスとローカル(日本)に最適なバイオマスの選択と開発戦略の構築
- 2) 太陽エネルギーの変換効率極大の作物(海洋性、陸生)の作出と栽培技術の開発
- 3) 新たに作出された、或いは既に存在する作物の未利用部分から資源物質生産への抜本的に高効率な転換プロセス(前処理・糖化・発酵・精製)と資源循環トータルプロセスの開発
- 4) スケールアップ等プロセス工学の再開発(超大容量発酵槽等)

3. 革新的遺伝子組換え作物に対する国民のネガティブ風土の変革

4. 諸外国、特に東南アジア、南米、アフリカ諸国との研究技術開発協力と  
相手国フィールドでの開発技術の実践